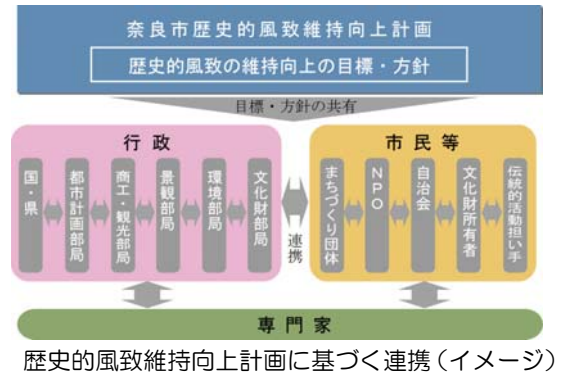


# 奈良市歴史的風致維持向上計画(案)抜粋

## 1. 計画策定の目的

### 目的1 歴史・文化を活かしたまちづくりの仕組みを整えることにより、市民主体の取り組みと多様な主体の連携による効果的な施策の展開を図る

奈良市歴史的風致維持向上計画のもとに、奈良市の各部局や国・県を含めた行政、まちづくり団体やNPO、自治会、文化財所有者や伝統的活動の担い手などの市民等、さらには、学識経験者などの専門家といった、歴史・文化を活かしたまちづくりに係る多様な主体・分野が目標や方針を共有し、歴史的風致の視点からの連携・調整を図り、奈良市における歴史・文化を活かしたまちづくりの取り組みをより効果的に推進する。



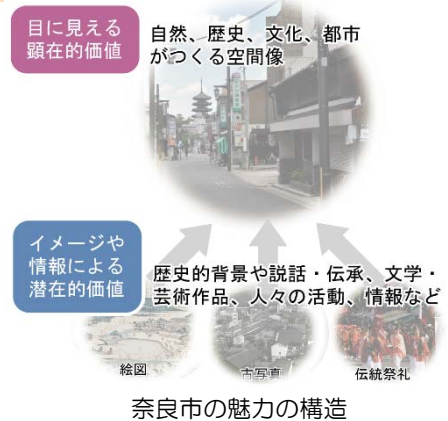
### 目的2 歴史・文化の豊かな生活環境を保全することにより、市民の誇りや愛着を育むとともに、産業や観光の振興による地域の活性化につなげる

奈良市の魅力を創り出している「顕在的価値」と「潜在的価値」の双方を高め、繋ぎ合わせていく。

「顕在的価値」：わが国の古都ならびに世界遺産都市として多くの人々に価値が認められている歴史的建造物・市街地など

「潜在的価値」：長い歴史に裏づけされた多くの人々が心のなかにもつイメージや情報など

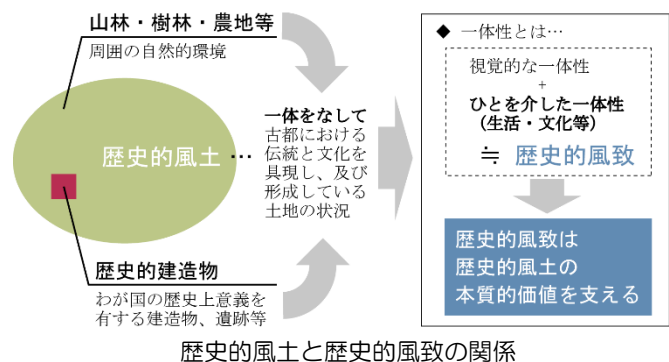
市民が地域の魅力を再発見し、自分自身の役割を再認識し、地域への誇りと愛着を育むとともに、観光行政と連携した施策展開を図り、多くの人々が奈良市の魅力・価値を再認識して、地域の活性化や観光振興につなげていく。



### 目的3 歴史的風致や歴史的風土の本質的価値を守り、育み、活かすことにより古都奈良の歴史・文化の魅力のより一層の向上を図る

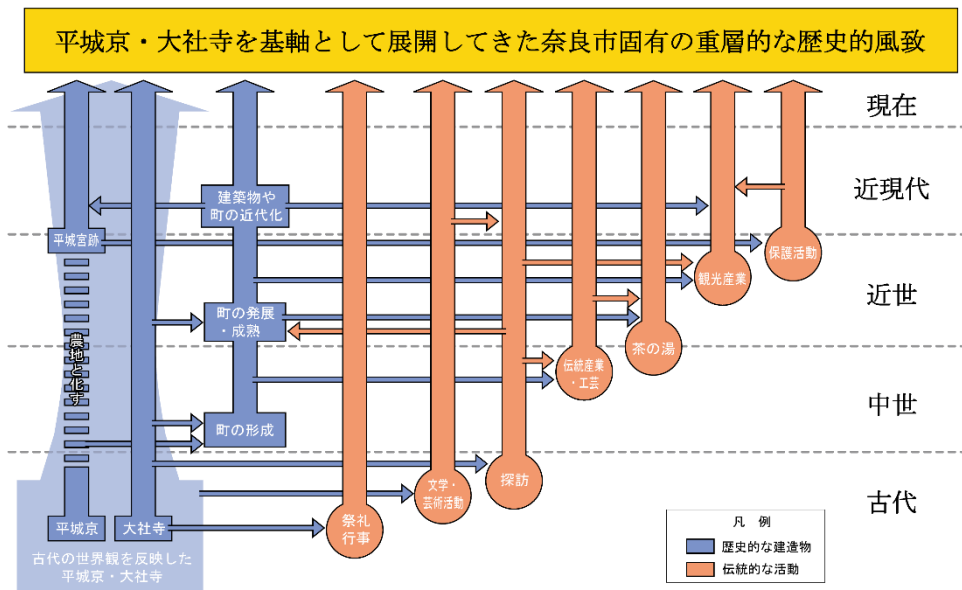
奈良市の歴史的風致を構成するひとの活動は、歴史的建造物と周囲の自然環境とを結びつけ、古都奈良の歴史的風土の本質的価値をつくりだしている。

豊かな歴史・文化資源がもつ価値やそれぞれの関係を踏まえ、古都奈良を特徴づける歴史的風致や歴史的風土を適切に守り、育み、また積極的に活かしていくことにより、古都奈良の歴史・文化をより一層魅力的なものとしていく。

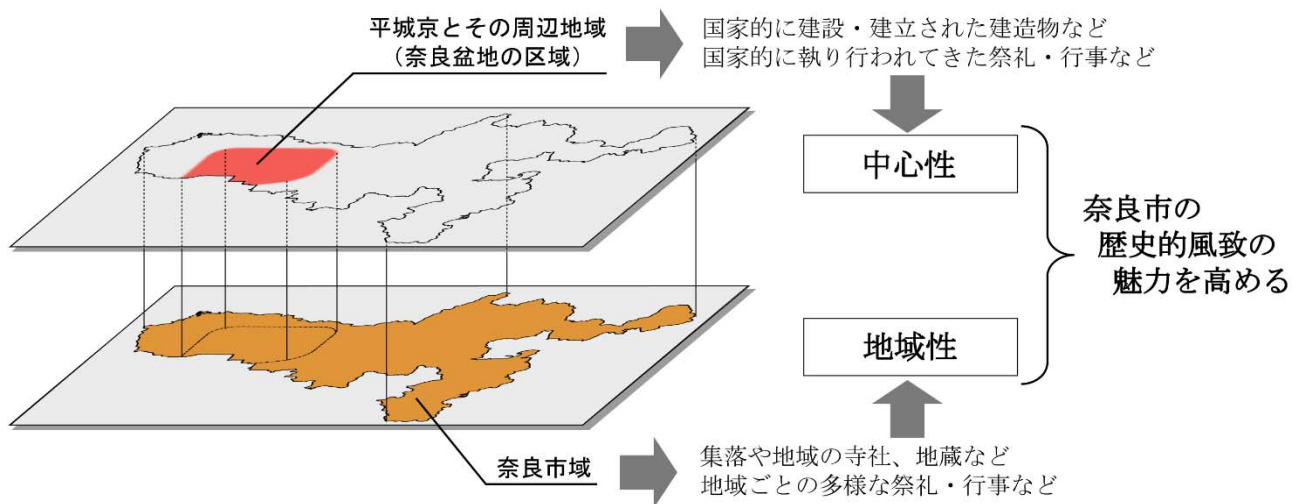


## 2、奈良市の歴史的風致の特色

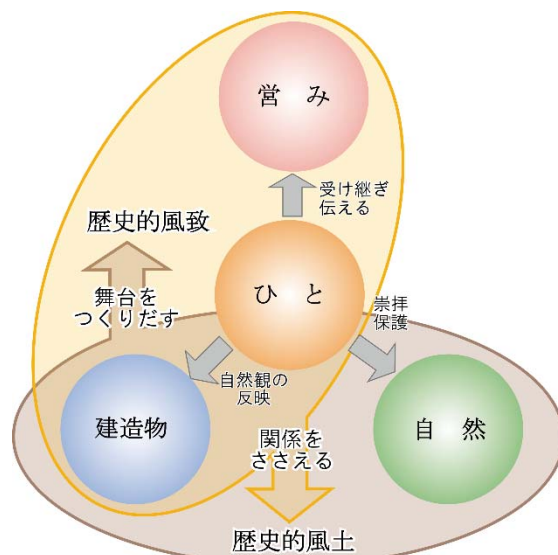
### (1) 都市の形成・展開を反映した重層的な歴史的風致



### (2) 中心性と地域性の二面性による歴史的風致

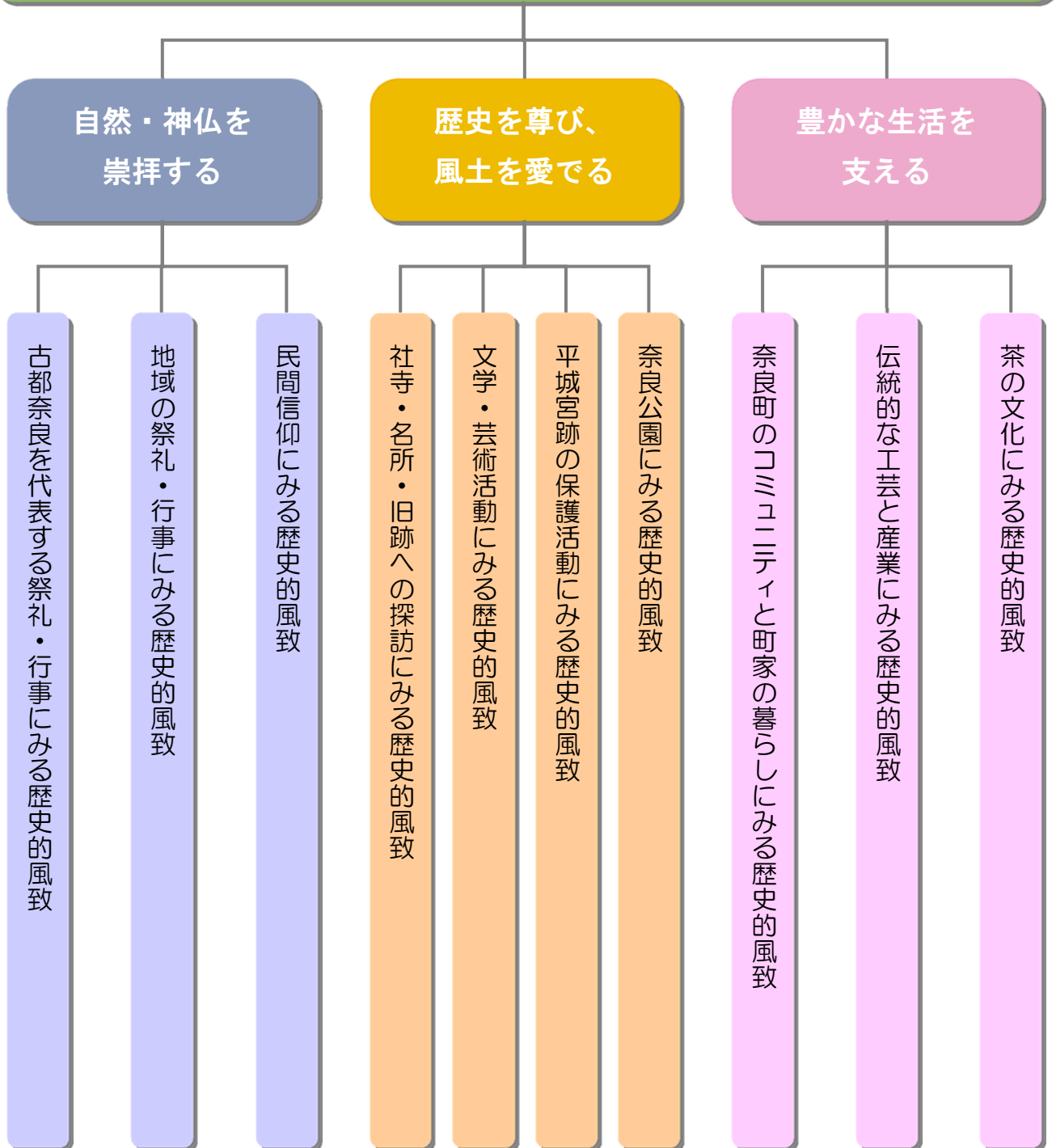


### (3) 古都奈良の歴史的風土の本質的価値を支える歴史的風致



### 3、奈良市の維持向上すべき歴史的風致

～ 古都奈良の歴史的風土を舞台として、  
それぞれの時代や地域において育み、成熟させてきた  
風格と魅力のある歴史的風致 ～



#### 4、歴史的風致の維持及び向上に関する課題

##### (1)「歴史上価値の高い建造物等の保存・活用」に関する課題

- ・ 指定等以外の歴史的建造物の喪失、外観の改変、駐車場化による町並み・眺望の変容
- ・ 歴史的建造物の活用が不十分
- ・ 多額な工事費や伝統技術保持者の減少等による修理・修景建築物の質の低下
- ・ 伝統的活動と切り離された形態・意匠の建造物の増加

##### (2)「歴史的建造物の周辺市街地の環境」に関する課題

- ・ 電柱電線類や屋外広告物の乱立、中高層の建物等による町並み・眺望の阻害・歴史的風致の魅力の減退
- ・ 木造密集市街地の災害脆弱性

##### (3)「伝統を反映した人々の活動」に関する課題

- ・ 実施費用や祭具等の補修費用が賄えない等の経済的課題
- ・ 実施のための労力的負担、担い手不足等の人材的課題
- ・ 祭礼・行事の内容の変更に伴う、本来の意味・価値の喪失
- ・ 茶の湯や文学・芸術活動などの文化的活動の主体の限定
- ・ 観光客のニーズの多様化のなかでの、社寺・史跡巡りのイメージの固定化

##### (4)「歴史・文化に対する市民意識とまちづくり」に関する課題

- ・ 「モノ」としての古代の遺産の保存・活用への偏重（中世以降の文化財や「ヒト」を介した文化財の相互関係への配慮不足）
- ・ 行政の主体的取組により、市民と文化財の関係の疎遠化
- ・ 文化財の価値や保護の重要性に対する市民意識が低い
- ・ 市民団体の活動の効果が限定的

##### (5)「歴史的風致をとりまく自然環境」に関する課題

- ・ 自然植生の変容やナラ枯れの進行等
- ・ 鹿の個体数の減少や餌付け、交通事故、食害などの鹿との共生に係る課題



修理の進まない町家



ナラ枯れ（若草山周辺）

## 5、歴史的風致の維持及び向上に関する方針

- (1) 奈良の歴史のつながりや重なりを感じられる場を守り、活かし、伝えていく
  - ・ 指定等以外の歴史的建造物の調査ならびに指定制度の活用推進
  - ・ 歴史的建造物を保存・活用するための制度や仕組みを整える
  - ・ 周辺景観の保全・形成による文化財相互や周辺との関係を感じられる一体的な景観づくり
  - ・ 一体となって価値をつくりだす周辺の自然環境の保全
  
- (2) 伝統・文化を自ら守り、活かし、伝えられる「ひと」を育くむ
  - ・ 指定等を受けている伝統的活動に対する積極的な支援  
(用具等の補修支援、伝統技術の講習会や担い手育成支援のための事業の実施など)
  - ・ 指定等以外の伝統的活動の調査ならびに指定制度の活用推進
  - ・ 学校教育等との連携や広報等による伝統文化の紹介による市民意識の醸成と担い手の育成
  - ・ ボランティアガイド等のリーダー的な人材の育成
  
- (3) 歴史的風致としての一体的な価値を共有し、まちづくりや観光振興に展開する
  - ・ これまでの社寺・史跡巡りを超えた、新たな奈良観光の価値付けならびに観光ネットワークを構築
  - ・ 地域コミュニティの維持・強化
  - ・ 中世以降の歴史的建造物や伝統的活動を含めた奈良の歴史文化ストーリーの打ち出しによる奈良の魅力・地域資産の価値の再認識と保存活用への展開
  - ・ 情報提供や活動助成等の支援による地区と団体及び団体相互の連携ならびに活動のより一層の推進と新たな展開の促進

## 6、重点区域

### 「重点区域」の要件

- ・国指定の重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡名勝天然記念物として指定された建造物（「重要文化財建造物」）の土地及びその周辺地域
- ・重要伝統的建造物群保存地区内の土地及びその周辺地域

- ・必要な都市計画の決定や景観計画の策定などの各種取組が行われている区域
- ・重点区域における各種取組が、当該区域のみならず市域全体や周辺地域の伝統文化の継承、活性化につながる区域

### 重要文化財建造物

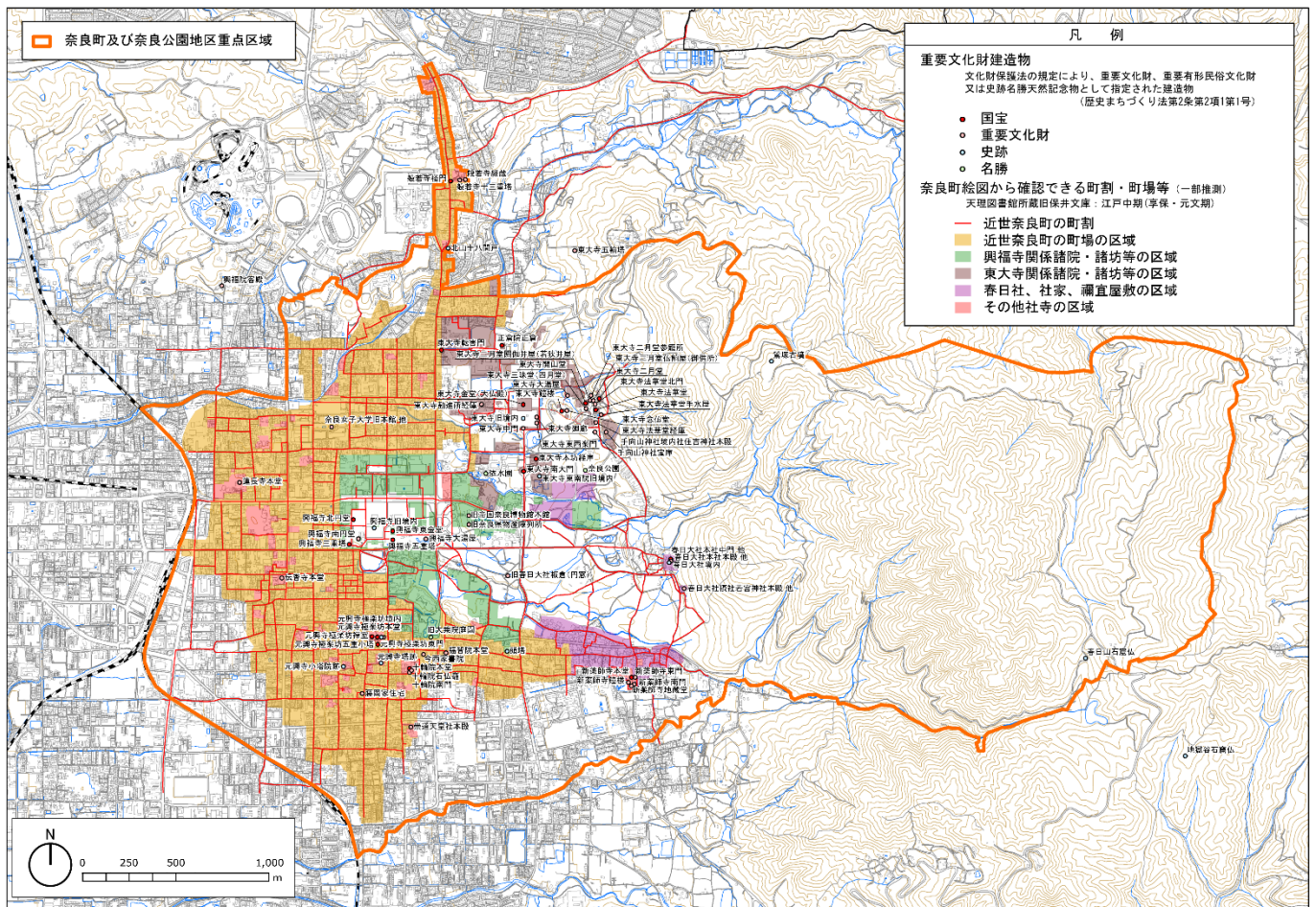
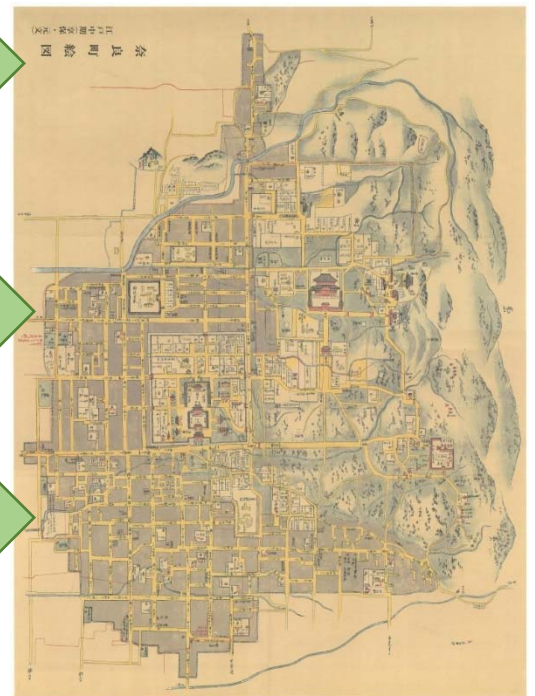
奈良市域合計 137 件  
 国宝・重要文化財：102 件  
 有形民俗文化財：1 件  
 （特別）史跡・（特別）名勝：34 件

### 奈良市景観計画

「奈良町地区」を歴史的景観形成重点地区、都市景観形成地区に設定

### 奈良町（きたまち含む）周辺地区

- ・歴史的建造物及び伝統的活動の集積度が高く、奈良市の歴史的風致維持向上のモデルとなる。
- ・奈良観光の拠点として市域への経済波及効果が期待できる。



## 7、歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

方針に基づき展開する具体的な内容と事業は、下記のとおりとする。

(ア) 奈良の歴史のつながりや重なりを感じられる「場」を守り、活かし、伝えていく

事業	1 国宝春日大社本社本殿等保存整備事業
	2 史跡興福寺旧境内保存修理事業
	3 市指定青田家住宅防災施設整備事業
	4 都市景観形成地区建造物保存整備事業（修理事業）
	5 都市景観形成地区建造物保存整備事業（修景事業）
	6 町家建物内部改修モデル事業
	7 奈良町町家バンク事業
	8 文化財調査事業
	9 三条線電線類美化事業
	10 猿沢線街路整備事業
	11 歴史的風致形成建造物保存整備事業
	12 ナラ枯れ等対策事業
	13 奈良のシカ保護育成事業

(イ) 伝統・文化を自ら守り、活かし、伝えられる「ひと」を育む

事業	14 伝統的建築文化継承事業
	15 なら工芸館活用事業
	16 伝統祭礼・行事助成事業
	17 奈良大茶会珠光茶会開催事業
	18 春日大社写生会及び清書会開催支援事業
	19 奈良国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業
	20 入江泰吉記念写真賞・なら PHOTO CONTEST 開催支援事業

(ウ) 歴史的風致としての「一体的な価値」を共有し、まちづくりや観光振興に展開する

事業	21 入江泰吉旧居活用事業
	22 奈良町賑わいの家活用事業
	23 観光案内板整備事業
	24 文化財解説板整備事業
	25 奈良まちかど博物館事業
	26 観光客誘致事業（奈良町にぎわい事業）
	27 史料保存館活用事業
	28 文化財講座開催事業